



AKARENGA YAWA VOL.68

平成28年度福岡市文学館企画展関連赤煉瓦夜話

# 「竹下しづの女が語るもの」

講師 <sup>こうはた こうじ</sup> 光畑浩治 (NPO 法人豊津小笠原協会理事、元竹下しづの女句碑建立期成会幹事)

福岡市文学館では、天神・赤煉瓦文化館（福岡市文学館）で文学講座「赤煉瓦夜話」を開催しています。11月・第68夜は、平成28年度福岡市文学館企画展「銀の爪紅の爪——竹下しづの女と龍骨」の関連講座として開催いたします。

講師に光畑浩治先生をお迎えし、郷里行橋でのしづの女のことや句碑建立にまつわるお話をしていただきます。

日時：11月17日 **木** 18時30分～20時（予定）

会場：福岡市赤煉瓦文化館2階会議室3

福岡市中央区天神1-15-30

（地下鉄・天神駅下車、16番出口徒歩5分）

定員：30名

**👉 第68夜は、事前申込制となりますのでご注意ください。**

## 【申込方法】

はがき又はFAX、Eメールで、「イベント名・住所・氏名・年齢・電話番号」をご記入の上、下記宛先までお申し込み下さい。応募者多数の場合は、抽選となります。

申込〆切 10月31日（月）

※はがきは当日消印有効 FAX、Eメールは当日必着

受付連絡先 〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館 文学・文書課福岡市文学館

T E L 092(852)0606 F A X 092(852)0609

Eメール library-bungaku.BES@city.fukuoka.lg.jp

## § 講師紹介 §

### 光畑 浩治 (こうはた こうじ)

1946年(昭和21)福岡県行橋市生まれ。福岡県立豊津高等学校卒業後、行橋市役所に入所。総務課長、教育部長などを経て、在職中の1979年(昭和54)に竹下しづの女句碑の建立に携わる。行橋市在住。

主な著作に『ふるさと私記』(海鳥社)、『ものがたり京築』(葦書房・共著)、『京築文化考』1~3(海鳥社・共著)、『京築を歩く』(海鳥社・共著)、『田舎日記・一文一筆』『田舎日記・一写一心』(花乱社・共著)、『句碑建立記念 竹下しづの女』(編著)など。



## § 講師からのメッセージ §

昭和五十四年(1979)郷里の行橋市中川に句碑が建立されて四〇年近くなります。受け入れに躊躇した郷里も、いつしか句碑が景色に馴染んで、訪れる人を温かく迎えるようになりました。

しづの女のどっしりとした肝っ玉かあさん風の生き方に共鳴する人も増え、おだやかな風土が生んだ女流俳人は「帰省して村に与せず小屋棲ひ」でしたが、「天に牽牛<sup>けんぎゅう</sup>地に女居て糧を負ふ」男勝りの生活者であった姿がゆっくりと伝わってくるように感じています。

### 赤煉瓦夜話68夜

#### 申込書

FAX 092-852-0609

#### 送付先

福岡市総合図書館文学・文書課  
福岡市文学館担当

申込締切：10月31日(月)

\*会場の都合上、応募者多数の場合は、抽選となります。ご了承下さい。

住所	〒	—							
氏名	フリガナ								
年齢		歳	電話番号		(	)		—	

\*申込1件につき2名様までとさせていただきます。2名でお申込の場合同行者の氏名もご記入下さい。

\*この申込書に記入された個人情報は、本講座以外の目的に使用しません。